

鐘紡資料データベースの公開

経済経営研究所・教授・伊藤宗彦

神戸大学経済経営研究所附属企業資料総合センターでは、本年度10月より、所蔵する鐘紡資料のうち、社長回章と呼ばれる稟議書、全冊（38,000 頁）についてデジタル化を完了し、インターネットを通じて公開いたしました。鐘紡資料は、同社の社史資料編纂室が所蔵していた資料で、鐘紡の1886年の設立から1990年にかけての時代をカバーする大規模な資料です。戦前は日本最大級、戦後も3大紡績会社の一つとして数えられたカネボウ株式会社は、紡績だけではなく、化粧品・薬品・食品・住宅の5つの分野において大規模な多角的経営を行ったことで知られています。鐘紡資料は、同一の経営体について第二次世界大戦前後を見渡せる数少ない企業資料群の一つです。今回、公開した稟議議事録である社長回章、経営内部の意思決定過程が窺える素材を豊富に含んでいます。このように100年以上にも及ぶ企業の稟議書がインターネット上で公開されている事例は世界でもありません。特に日本型経営システムの形成プロセスの研究の貴重な資料となることが期待されます。

(鐘紡資料データベース)

<http://centerdb.rieb.kobe-u.ac.jp/kaneboddb/>

【問合せ先】

神戸大学 経済経営研究所 企業資料総合センター
センター長 伊藤 宗彦

<http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/center/index-j.html>

TEL : 078-803-7028

E-mail : itohm@rieb.kobe-u.ac.jp